

No.	質問	回答
1	<p>去年の説明会と正門の位置が変わっているが、変更になった理由を教えてください。正門の位置が変更になったことでグラウンドの面積は広がるのか。</p>	<p>敷地と同レベルに緑地帯を整備する関係から、がけ側に緑地を設けることが難しいという敷地条件があり、それを踏まえて実施設計の整理を行いました。その結果、整備箇所は北側道路と交差点付近に集中することとなり、交差点側を全体的に大きな緑地として設置することで、北側道路部分の後退を最小限に抑える工夫をしました。この設計により、校庭の使える面積を広く確保することが可能になり、児童が快適に遊んだり学んだりできる環境を整えました。</p> <p>また、交差点付近には歩道が広がっている場所があり、安全性を考慮すると同時に、児童が学校帰りや登校の際に安心して滞留できる空間として活用できるよう検討し、完成した形に設計を見直しました。</p> <p>さらに校庭については、トラックを配置しつつ、遊具や庭園、ピオトープの設置場所を考慮してデザインを行い、自然と触れ合えるエリアと運動がしやすい広々とした空間の両方を提供できるよう配慮しました。この配置計画により、生徒の活動がより多様化し、豊かな校庭づくりを実現しています。</p>
2	<p>入札不調について、具体的にはどういったことがあったのか教えてください。</p>	<p>工事の事前告知を行った際には企業側から申し出がありましたが、実際の入札には応じてもらえませんでした。その後、対応策として業者へのヒアリングを実施し、社会的な状況も踏まえた対応を試みました。しかし、技術者の確保が難しい状況も影響し、2回目の入札も不調に終わる結果となりました。</p>
3	<p>入札不調の原因は金額が原因だったのか。</p>	<p>入札不調の要因として、近年の技術者不足が業界全体の大きな課題となっており、特に専門的な知識や経験が必要な公共事業では、発注時期によって応札できる人材や企業が限られる事態が続いています。さらに、2024年施行の働き方改革関連法によって、時間外労働の規制や週休二日制の導入が進むことで、人件費の増加が避けられない状況となっています。これが企業にとっての負担を増加させる要因となり、受注できるかわからない入札への参加を控える動きが強まっています。その結果として、予算内での応札が難しいケースが増加しており、今回の入札不調もこれらの複合的な要因が影響したと考えられます。</p>
4	<p>現計画の居ながら改築では、小学校時代の全てを工事している中で過ごす児童も出てくる。計画の重要性を考慮しながら専門の部署があってこれまで進めてきていると認識はしているが、開設時期の延伸になっている。保護者としては、ここは反省として繰り返してほしくない思いがある。校庭が使えない状態になってから開設時期が延伸している状態で、その間、子どもたちは赤羽自然観察公園への往復の移動時間が発生し学習時間が削ることもになっている。一区民として、このような状況にならないように、もう少し見直しをもってこの事業を実施していただきたい。</p>	<p>区として計画性をもって学校改築事業を進めているところではありますが、民間も含めて入札不調が多くあるという現状です。区としても対策も講じた中で対応してきましたが、結果として、入札不調になっていることをお詫びいたします。教育部局・学校と連携をとりながら改築事業を進めていくなかで子どもたちの教育環境の不備がないように努力していきたいと考えております。</p>
5	<p>今回の説明では外観等の説明があったが、学校内部の設計についての変更はないのか。今日の資料には設計の段階で内部の図面がないので、変更がないと受け止めてよいのか。</p>	<p>全体の大枠の構成については、基本設計時の設計内容に変更はございません。</p>
6	<p>体育館のあるあかいと幼稚園側から抜ける道はあるか。</p>	<p>敷地へのアクセスを確保するため、北側に正門、西側に西門、体育館側の東側に東門をそれぞれ計画しております。この配置により、敷地に隣接する道路への円滑なアクセスが可能となる計画です。</p>
7	<p>現校舎の解体工事は、また入札をするのか。それとも今の工事業者である菊池建設が解体工事まで行うのか。仮に入札の場合、入札不調になるリスクはないのか。</p>	<p>現校舎の解体工事については、令和10年度中に入札を予定しています（詳細は工事説明会資料P6「工事（解体）」の★マークで記載した箇所をご参照ください）。ただし、入札方式のため、入札不調が発生する可能性も否定できない状況です。</p>

8	<p>今後も工事遅延リスクはあるのかと理解している。そもそもなぜ最初の見通しが立たない状態でグラウンド解体工事をしてしまったのか。工期を中断するリスク対応、その手立てがなかったのか。</p> <p>このようなことを繰り返されないためのリスクマネジメントは考えているのか。</p>	<p>これまで埋蔵文化財調査やプール等の解体工事を含め、スケジュールを組んで進めてきた経緯がございます。しかし、コロナ禍以降においては、建設市場が需要過多の状況となっており、厳しい環境下にあります。例えば、他区では4回の入札不調が発生したと聞いており、また民間の再開発事業でも同様の事態が起きていると認識しております。</p> <p>こうした状況の中、区としてこれまでも対策を講じてまいりましたが、更なる対応が必要と考えております。現在、庁内で何ができるかを検討しており、具体的には、工事の予告をより早期に行うことや、所管法令の範囲内で可能な施策を模索している段階です。引き続き、入札不調が発生しないよう、全力で取り組んでまいります。</p>
9	<p>卒業までグラウンドがない状態だと思うと、保護者としては、子どもに申し訳ない気持ちでいっぱいである。子どもの運動量の観点から、スポーツテストの結果が全国平均より低く出ている。一昨年の数値と比べてみても落ちている状況。運動スペースの創出を今後も考えてほしい。</p> <p>赤羽台という地域はヌーベル赤羽台、東洋大学等もあってスペースがある。近隣の学校との合同体育や体育授業を増やすこと、遊び場を確保するために施設を借りる等、地域と連携をとって、子どもたちの運動能力に影響が出ないように知恵を絞っていただきたい。</p>	<p>開設時期延伸等による子どもたちの運動能力に関するご不安についてはお詫び申し上げます。子どもたちの運動能力の向上については、引き続き学校と協力しながら検討させていただきます。</p>
10	工事説明資料P11について、クレーンの可動範囲は赤点、緑点だけなのか。	可動範囲は調整できます。
11	クレーンの可動範囲について、あかいとり幼稚園側はどうするのか。	あかいとり幼稚園の敷地上空をクレーンが通過しない対応を取ります。
12	季節によって施工地は南西からの風が強いエリアである。クレーンの基礎は最高何mになるのか。	具体的な数値はまだ決まっておりません。設置の検討段階で詳細を決めていきます。
13	クレーンは風でかなり揺れる。あかいとり幼稚園や現校舎側に資材が落ちてこないかを気にしている。	<p>作業においては、有資格者による施工を基本とするだけでなく、風の状況を十分に確認しながら進める体制を整えております。吊荷については、安全性を確保するため、ロープを用いて引っ張りながら転回を行うことなども検討しております。</p> <p>具体的な対策として、工事現場には吹き流しを設置し、「吹き流しの角度による風速の目安」を掲示することで、常に風の状況を確認しながら作業を進めます。また、労働安全衛生法に基づき、安全確保のための基準を厳守し、隣接する区域や作業員の安全を確保しながら施工を進めてまいります。</p>
14	最高何mの風速でクレーンの作業中止にするのか。事故があつてからでは遅いため、風速何mであれば作業しない等の情報を開示してほしい。	<p>現時点では具体的な数値を持ち合わせておりませんが、作業計画の中で検討を進めていきます。作業基準の開示については、仮囲いなどに掲示する方法を考えております。</p> <p>具体的には、工事現場に吹き流しを設置し、「吹き流しの角度による風速の目安」を掲示することで、風の状況を随時確認しながら作業を進める体制を整えます。また、労働安全衛生法に定められた基準に従い、安全を最優先に施工を実施します。特に以下の基準を厳守いたします：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 作業中止の基準: 10分間の平均風速が毎秒10m (10m/s) 以上の場合。 2. 逸走防止措置の基準: 瞬間風速が毎秒30m (30m/s) を超える恐れがある場合。 <p>これらの基準を遵守し、安全確保に最大限努めてまいります。</p>
15	工事施工において粉塵に対して問題ないか。	作業員だけでなく、周辺環境や住民にも悪影響を及ぼす可能性があるため、粉塵の発生を抑えるための対策を行います。
16	工事資材の搬入等において、東ゲートから搬入すると思うが、現地はかなり段差があるが、本当に出入りできるのか。	現在、敷地には約1m程度の高低差があります。この高低差に対応するため、擁壁を解体し、スロープを設けた上で鉄板を敷き、出入りが可能となるよう調整いたします。

17	<p>昨今の世界情勢考えると、今後、工事が中断することも考えられるのではないかと。工事中断の場合、対策は考えているのか。再度工事が中断したときに元校庭を使えるようにならないか。</p>	<p>改築事業を進める区としては、昨今の中東情勢について懸念を抱いており、その影響の程度について現時点では予測が難しい状況です。そのため、まずは迅速に情報を収集し、国や東京都とも連携を図りながら対応を進めてまいります。万が一、資材供給不足等で工事が中断する事態に陥った際には、教育環境の確保をどのように実現するか、区全体で検討していく所存です。</p> <p>また、プール解体工事後のグラウンドにつきましても、砕石が混じっている状態であり、一部に段差が生じている箇所がありました。このため、児童が安全に遊んだり運動をしたりするスペースとして利用するには適さない状況となっております。</p>
18	<p>工期が短くなる要素はないか。土日は学校授業外であることから作業ができると認識している。民間の工事では夜8時～9時あたりまで作業をしている。時間の使い方での短縮できる要素はあると思うが、見解は。</p>	<p>夕方5時以降の作業につきましては、過去に別の学校の工事施工中、近隣の方々から「工事音がうるさい」というご意見をいただいたことがございました。このような経緯を踏まえ、現在の工事でも作業時間を適切に設定させていただいております。</p> <p>特に内装工事に関しては、工事音が近隣に漏れないよう配慮しつつ、工期を遵守する観点から施工業者と協議を重ねて対応を進めてまいります。</p>